

だいご 大子

議会だより

目次

令和5年第3回定例会	2～3
議員報酬検討特別委員会を設置	4～5
予算・決算委員会	6～7
令和5年第3回臨時会、第4回臨時会	8
議員と話そう会（高齢者大学編）	9～10
議員の活動報告します	11～12
あん ^{とき} 議会の質問は今?!	13
一般質問	14～21
「わくわくわたしの夢」	22



「議員と話そう会 ～高齢者大学～」

令和5年 第3回定例会

「議員報酬検討特別委員会の設置について」を可決しました！（議員提出議案第7号）

令和5年第3回定例会が9月6日から9月15日まで10日間の会期で開催されました。

令和5年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案21件、報告1件、議員から提出された議案4件、すべての議案が原案どおり全会一致で可決（承認・同意・認定）されました。

一般質問では、7名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

また、議員提出議案「議員報酬検討特別委員会の設置について」の可決により、今後は議長を除く議員12名で構成された特別委員会において、今後の議員報酬のあり方などの検討が行なわれることとなります。（詳細は4,5ページをご覧ください。）

一般会計補正予算(第6号)の主なもの

歳入	補正額
国庫支出金	461万7千円
地方債	8430万円
繰入金	1億9442万6千円

歳出	補正額
大子町公式アプリ構築業務委託料	597万1千円
水郡線に乘ろう帰省割引事業費補助金	35万円
各種特産農産物等作付支援事業補助金	1072万円
大子おやき学校茨城DC特別企画事業費	91万円
大子町文化・スポーツ大会等出場補助金	33万円
公共施設整備基金積立金	1億9375万7千円

大子町公平委員会委員に椎名信一さんを選任

大子町公平委員会委員の金成節子さんが、令和5年11月30日で任期満了となるため、後任に椎名信一しいなしんいちさんを任命することに同意しました。任期は令和5年12月1日から令和9年11月30日までです。

大子町固定資産評価審査委員会委員に佐久間勝海さんを選任

大子町固定資産評価審査委員会委員の佐久間勝海さくまかつみさんが、令和5年10月11日で任期満了となるため、同氏を引き続き選任することに同意しました。任期は令和5年10月12日から令和8年10月11日までです。

あなたから出された請願は

請願名	請願者	付託委員会	結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 978-46 茨城教育会館 2 F 茨城県教職員組合 代表 中山幸男 ほか 120 名	文教厚生委員会	採 択

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁等に意見書を提出しました。

第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第6号	令和4年度大子町一般会計継続費の精算報告について	報告済
議案第56号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第57号	令和5年度大子町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第58号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第59号	大子町庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第60号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第61号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第62号	令和5年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第63号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第64号	令和5年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第65号	令和5年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第66号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第67号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第68号	令和5年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第69号	令和4年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第70号	令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第71号	令和4年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第72号	令和4年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第73号	令和4年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定

議案第74号	令和4年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第75号	令和4年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案認定
議案第76号	(仮称)大子町交流拠点施設建設工事請負契約の締結について	原案可決
議員提出議案第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
議員提出議案第6号	森林環境譲与税の譲与基準等の見直しを求める意見書	原案可決
議員提出議案第7号	議員報酬検討特別委員会の設置について	原案可決
議員提出議案第8号	議員の派遣について	原案可決

議員報酬検討特別委員会を設置しました

■ 町民の皆さんに質問です。

Q1 大子町議会議員の報酬額はいくらご存じですか？

A 月額250,000円です。

Q2 茨城県内の市町村議会のなかで、大子町の報酬額は何番目だと思いますか？

A 44番目の最下位です。

Q3 いつからこの報酬額だと思いますか？

A 31年前の平成4年からです。それから改定されていません。

茨城県内の市町村議会の平均報酬額は約361,000円で、大子町議会は11万円低い報酬です。近隣の議会と比べると大子町は常陸太田市より14万5千円低く、常陸大宮市より10万円低い報酬となっています。

右の写真は平成4年10月に発行された「だいでご議会だより No.91」の表紙と報酬を見直した時の記事です。



職名	現行月額	改正月額
議長	300,000円	270,000円
副議長	270,000円	240,000円
議員	250,000円	220,000円
職名	給料月額	改正月額
町長	690,000円	630,000円
町副長	540,000円	490,000円
収入役	520,000円	490,000円
教育長	590,000円	440,000円
職名	報酬月額	改正月額
教育委員会 委員長	28,000円	25,000円
教育委員会 委員	8,000円	7,000円
学務管理委員会 委員長	8,000円	7,000円
学務管理委員会 委員	8,000円	7,000円
公平委員会 委員長	7,100円	5,500円
監査委員会 委員長	24,000円	25,000円
監査委員会 委員	24,000円	21,000円
生涯学習推進委員会 委員長	51,000円	48,000円
生涯学習推進委員会 委員	42,000円	39,000円
生涯学習推進委員会 事務局長	35,000円	32,000円
生涯学習推進委員会 事務員	34,000円	31,100円
生涯学習推進委員会 事務員	8,000円	8,100円
生涯学習推進委員会 事務員	5,500円	5,000円
生涯学習推進委員会 事務員	5,000円	4,400円
平成4年度各会計補正の状況		
会計	修正額	修正後の額
一般会計	2億6,615万2千円	89億2,903万1千円
法定外繰入金	570万円	16億4,192万1千円
繰上金	68万5千円	1億7,807万5千円
未達事業会計	290万円	8億1,680万1千円

■背景

議会議員の報酬額を決める明確な規定はなく、数年ごとに見直す基準もありません。過去に報酬の再検討は幾度かありましたが改正に至りませんでした。そのため県内最低の報酬額と、県内最長の31年間も報酬改正をしていない議会になっています。

■議員として我々ができること

町のために議員活動を充実させるには、調査や研究が欠かせません。現在の報酬額では議員活動に事実上の限界があると感じます。これからの世代が議員になるために、議員報酬のあり方を先送りすることはできません。町に住む若い世代が、自分の町づくりを夢に描いて議員になる。そんな未来を実現するために議員報酬を検討する特別委員会を設置しました。

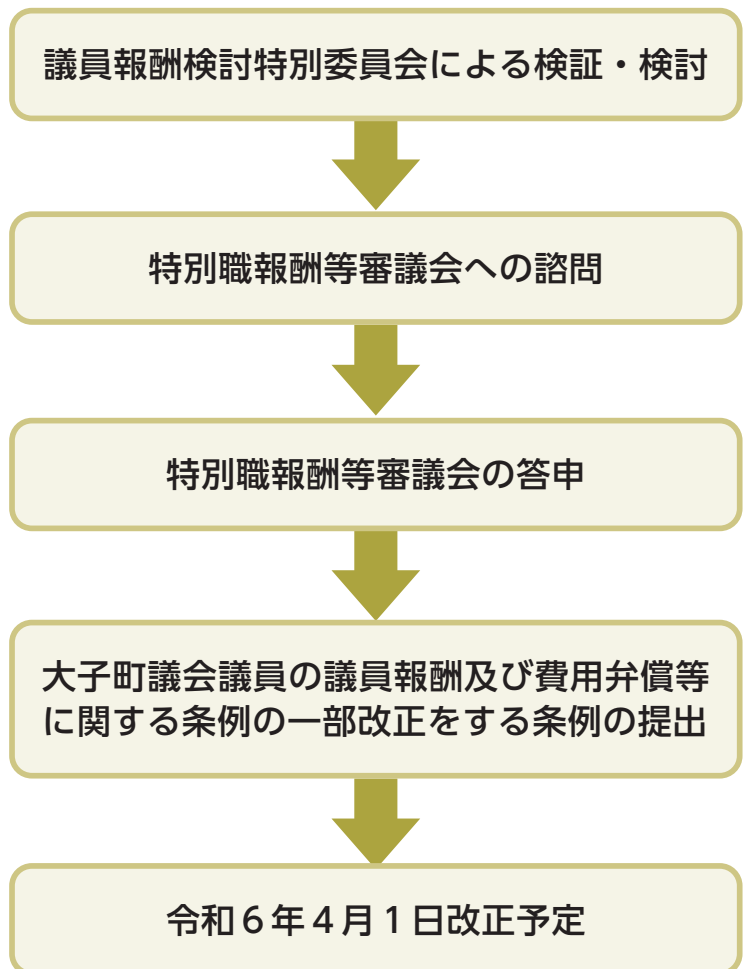
■今後の進め方

これまで報酬についておこなった調査検討を継続するため、議員報酬検討特別委員会において、検討を進めていきます。大子町の未来のために今やるべきことを考え、より多くの町民の皆様にご理解をいただけるよう努力して参ります。

右のQRコードから特別委員会設置の際の「大森委員長あいさつ」をご覧ください。



第1回議員報酬検討特別委員会の様子



令和4年度歳入歳出決算の認定について

令和4年度における予算執行の歳入歳出決算の認定については、予算・決算委員会に付託され2日間にわたり審査が行われました。審査の結果、一般会計の主な事業や特別会計・水道事業会計の決算（町長提出議案71号から第75号まで）について原案のとおり認定しました。

一般会計歳入決算

132億1489万円

(前年度より 2億5565万円 増えました)

一般会計歳出決算

116億7021万円

(前年度より 2億2598万円 増えました)

令和4年度 一般・特別・水道事業会計決算

会計別		歳入決算額	歳出決算額
一般		132億1489万8千円	116億7021万5千円
特別会計	国民健康保険事業	23億5665万6千円	22億916万円
	後期高齢者医療	2億7997万4千円	2億6953万8千円
	介護保険	26億8158万4千円	24億7288万7千円
	介護サービス事業	1120万9千円	1120万9千円
	浄化槽整備事業	8850万2千円	8789万9千円
水道事業会計	収益的収支	5億2213万円	4億4234万5千円
	資本的収支	3億730万7千円	4億9980万6千円

資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億9249万9千円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額102万円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3296万7千円、当年度分損益勘定留保資金1億1183万8千円、建設改良積立金3000万円及び減債積立金1667万4千円で補てんしました。

■ 予算・決算委員会とは



町が令和4年度中におこなったすべての事業に対して、どのように予算が使われたのかを審査する委員会のことで、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

予算・決算委員会での主な質疑

一般会計決算認定 ※一部を抜粋して掲載しています。

問 新型コロナウイルスワクチン接種の際の臨時バス（みどり号の増便）利用人数は？

答 令和4年度は111人の利用があった。 ※令和3年度は211人。【総務課】

問 和牛、乳牛飼料支援金（2770万円）の実績の内訳は？

答 令和4年度は2回実施して、2478頭に対する支援を行った。内訳はおおよそ乳牛300頭、和牛2200頭であった。【農林課】

問 ふるさと魅力発見隊事業の実績と効果は？

答 「奥久慈茶で和紅茶を作る体験」（参加者36名）と「秋そば収穫とそば打ち体験」（参加者23名）を実施した。町外からも参加があり、お茶やそばのPRに効果的な事業であった。【農林課】

問 女性用のEバイク（電動アシスト機能付自転車）を5台購入しているが、レンタサイクルの利用状況は？

答 年度後半の購入であり、成果はこれからと考えている。また、他の自治体がイベントで使用するため、大子町のEバイクを複数台レンタルしていくようなケースも最近増えている。【観光商工課】

問 タクシーデリバリー応援事業の店舗数と利用状況は？

答 令和4年度は696件の利用があった。令和2年度から商工会青年部が始めた事業だが、コロナ禍が落ち着き店舗を利用する人が増えたことで、少しずつデリバリーの需要が減っていった。今は、コロナ禍の時とは違ったニーズの高まりもあるため、今後も継続して行う予定と聞いている。令和5年度の登録店舗数は21店舗。 ※参考、令和2年度から令和4年度までは28店舗の登録があった。【観光商工課】

問 特殊詐欺対策電話機等購入費補助金の概要と利用人数は？

答 特殊詐欺や悪質な電話勧誘等の被害を防ぐための機能付電話を購入した際の補助金（購入費用の2分の1以内の額 ※上限5,000円）で、令和4年度は23名に交付した。【観光商工課】

■ 特殊詐欺対策電話機とは

自動応答録音装置などの特殊詐欺等への対策機能がついた電話機、または固定電話機に接続する周辺機器のことです。補助申請などの詳細は大子町ホームページをご覧ください。（右のQRコードをスキャンしてご覧ください。）



問 ^{きょう}橋りょう点検業務の結果は？

答 町内には400橋を超える橋があり、点検は5年周期で実施している。令和4年度は120橋の点検をした結果、「健全」が36橋、「予防保全段階」が69橋、「早期措置段階」が15橋であった。「早期措置段階」の橋については、緊急性や利用状況などから判断し、毎年3橋ほどの補修設計を組んで、計画的に補修していく予定である。【建設課】

問 令和4年度の団員退職報償支給者数と新入団員数は？

答 退職報償金支給者は24名（団員10名、班長2名、部長12名）で、新入団員は15名であった。

【消防本部】

問 各学校に設置してあるエアコンの効き具合は？

答 換気の観点から、窓を開けエアコンの設定温度の目安を通常よりも低めの26℃に設定して運用した。効きに関する不具合などの話は出ていない。

【教育委員会事務局】

令和5年第3回臨時会

台風第2号災害対応分(1266万5千円)の補正予算の専決処分を承認！

第3回臨時会が8月4日に開催され、町長提出議案3件について、すべての議案が全会一致で可決されました。

第3回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第53号	令和5年度大子町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第54号	旧役場庁舎等解体工事請負契約の締結について	原案可決
議案第55号	既存衛生センター及び堆肥化施設解体工事請負契約の締結について	原案可決

■解体工事請負契約の締結



今回の議会では、2件の解体工事の請負契約について可決されました。金額は

①旧役場庁舎等解体工事 2億7037万2300円(消費税含む)

②既存衛生センター及び堆肥化施設解体工事 1億6258万円(消費税含む)

これらの費用として、①旧役場庁舎解体には「旧役場庁舎等物件移転委託金」という茨城県からの支出金が充てられ、②衛生センターの解体は町の一般財源から支払われることとなります。

令和5年第4回臨時会

小型動力ポンプ付積載車(1361万8千円)の取得について可決！

第4回臨時会が10月10日に開催され、町長提出議案1件について、全会一致で可決されました。このほかに、専決処分の報告が1件ありました。

第4回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告7号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告済
議案第77号	小型動力ポンプ付積載車の取得について	原案可決

議員と話そう会

（高齢者大学編）

7月28日、大子町高齢者大学受講生の皆さんと意見交換などを目的とした「議員と話そう会」を開催しました。

今までは主に議会の取組などを報告する「議会報告会」というタイトルで実施してきましたが、広く町民の皆さんの意見を聞いてみたいという思いで、今年度は「議員と話そう会」という意見交換のかたちでの開催となりました。

令和4年度には、文教厚生委員会と大子清流高校生が「町の魅力や課題」「町の理想像」「理想を実現するために」をテーマに意見交換会を行いました。今回は特定のテーマを決めずに、最初に決めた5つのルールに基づいて行いました。

3グループに分かれたそれぞれの席からは活発な意見が飛び出し、皆さんの日頃から感じている思いなどを聞くことができました。

5つのルール



1. 名札を作って簡単な自己紹介をしましょう。
2. 自分の自慢をしてください。
3. 興味のある話題やみんなに広めたい話題はありませんか？
4. 町と関連する出来事は何かありましたか？
5. ほかに話したい話題があれば話してください。



■意見交換（Aグループ）【受講生9名 議員4名】

- ・議員報酬は、なり手不足につながってしまうので報酬は上げた方が良いのでは。
- ・議会だよりを見て議員の質問などに興味湧いてくる。更に聞きたい場合、問い合わせできるようになれば良いと思う。
- ・行政のIT化やDXの推進が進む中ではあるが、もう少し高齢者の目線に沿って行政サービスを行ってほしいと思う。
- ・以前に、町をよくする実行委員会メンバーによる会議が行われていた。今後もメンバー構成を行ってみたいかがか。



■意見交換（Bグループ）【受講生10名 議員4名】

- ・読書の町を宣言しているが施設がお粗末である。新しい道の駅の観光交流ホールに図書館を！
- ・清流高校への進学希望者が少ないが、改善策はあるのか。
- ・人口増加対策をしっかりとってほしい。
- ・高齢者の働く場所がない。生きがいを持てるような施策をしてほしい。シルバーセンターの部署、部門を増やしたらどうか。
- ・避難指示に対する対応で避難すべきかどうか迷う。
- ・パトカーの巡回を増やしてほしい。
- ・みどり号はもっと小さい車で。道が狭いのですれ違うのも大変。



■意見交換（Cグループ）【受講生8名 議員3名】

- ・免許返納を都会のように早くしたら、地区が機能しなくなる。免許書き換えの時に常陸大宮市までバスが出るようになったので助かる。しかし、講習が2時間とか3時間の人が出た場合、帰りはどうなるのだろうか。
- ・マイナンバーカードのメリット、デメリットがよく分からない。
- ・防犯灯が暗い所がある。
- ・冠水被害にあったが、とりあえずの工事のような対策しかしてもらえず、今後のことが不安である。



■意見交換会を終えて

掲載した内容は意見交換で出たほんの一部です。

このほかにも健康の秘訣や趣味の話、さらには孫の話など様々なジャンルのテーマで語り合うことができました。中には、ピリッと辛めのご意見もいただきました。

やはり行政に関する意見や要望、相談が多く、貴重な「高齢者目線」でのご意見は、今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

意見交換終了後のアンケートには、「良好」の声が寄せられ、「また参加したい」という意見を多くの方からいただきました。

高齢者大学受講生の皆さん、ありがとうございました。

議員の活動報告します！

7月、8月、9月、10月の議員活動の一部を報告します。

7月	<ul style="list-style-type: none">・子ども議会〔議員〕・国政状況学習会（衆議院第一会館）〔議員〕・議員と話そう会（高齢者大学）〔議員〕・防災対応型炊飯センター竣工式典〔議員〕
8月	<ul style="list-style-type: none">・第3回臨時会〔議員〕・議会だより発行〔広報委員会〕・定例全員協議会〔議員〕・法令・条例の読み方研修〔議員〕・茨城県市町村長・議長合同会議〔議長〕
9月	<ul style="list-style-type: none">・第3回定例会〔9月6日から9月15日まで〕・予算・決算委員会（令和4年度決算審議）〔予算・決算委員会委員〕・文教厚生委員会研修会〔防災対応型炊飯センターほか〕・第1回、第2回議員報酬検討特別委員会
10月	<ul style="list-style-type: none">・第4回臨時会〔議員〕・栃木県那須烏山市議会（総務福祉常任委員会）行政視察来庁〔議長〕・埼玉県幸手市議会（常任委員会合同）視察来庁〔議長〕・北海道芦別市議会（総務常任委員会）視察来庁〔議長〕・第3回、第4回、第5回議員報酬検討特別委員会

ピックアップ

■森林環境譲与税の譲与基準等の見直しを求める意見書を提出！

第3回定例会において可決された、「森林環境譲与税の譲与基準等の見直しを求める意見書」を農林水産大臣に提出しました。

大子町では、これまでに森林環境譲与税を間伐などの森林整備や担い手の確保などに活用して、森林がその公益的機能を十分果たせるよう取り組んできました。

議会でも、「大子町森林・林業・林産業活性化促進議員連盟」としての活動や、常任委員会による「支障木（道路にはみ出ている木や枝）」の調査を行ってきて、森林管理の重要性を感じてきました。

多くの森林を抱える自治体が十分な森林整備を一層推進できるよう、森林環境譲与税の分配基準の見直しと活用の拡大を強く要望する必要があると判断したため、地方自治法99条に基づき提出しました。

■森林環境譲与税とは

森林環境譲与税は、令和元年度から導入された地方譲与税です。

【使い道】森林整備・人材育成・担い手確保・木材利用の促進や普及啓発など。

【譲与基準】総額の9割に相当する額を私有林人工林面積(5/10)、林業就業者数(2/10)、人口(3/10)で按分。

大子町に譲与（交付）された令和4年度の森林環境譲与税は約7900万円でした。

■国政状況学習会

7月24日、自民党本部や衆議院第1議員会館を訪問し、国政状況学習会を実施しました。

午前中は、自民党幹事長代行の梶山弘志代議士を表敬訪問し、現在の国政状況や今後の展望、県北地域の現状などについて意見交換を行いました。

午後からは、国土交通省道路局の杓掛敏夫企画課長を講師として、「道路・インフラ整備の現状」について学習してきました。



■法令・条例の読み方研修

8月10日、第一法規株式会社に講師の派遣を依頼して、法令・条例の読み方研修を実施しました。

これは、議員としての法令や条例の基礎的な知識を再確認するために実施したもので、11名の議員が参加しました。



■大子町へようこそ！（行政視察）

「大子町を視察したい！」という声が多く市の町村議会から寄せられています。

これは、大子町の取り組みが注目されているあかしでもあります。10月は3市の議会議員の皆さんにご訪問いただきました。この視察研修が活かされることをお祈りします。

なすからすやまし
栃木県那須烏山市議会
（総務福祉常任委員会）

6名

《10月11日（水）》

【視察概要】

- ・清流高校への給食提供
- ・防災対応型米飯センター
- ・新庁舎見学



さってし
埼玉県幸手市議会
（常任委員会合同）

23名

《10月16日（月）》

【視察概要】

- ・新庁舎建設



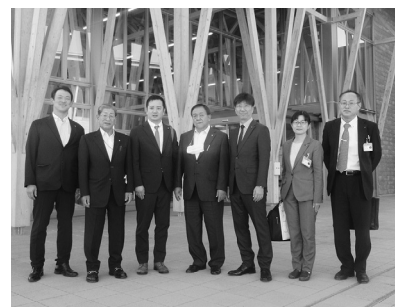
あしべつし
北海道芦別市議会
（総務常任委員会）

8名

《10月17日（火）》

【視察概要】

- ・AI乗合いタクシー
- ・新庁舎建設



あん^{とき}議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は『サニタリーボックスの表示』についてです。令和4年第4回定例会の一般質問の中で、こんな質問がありました。

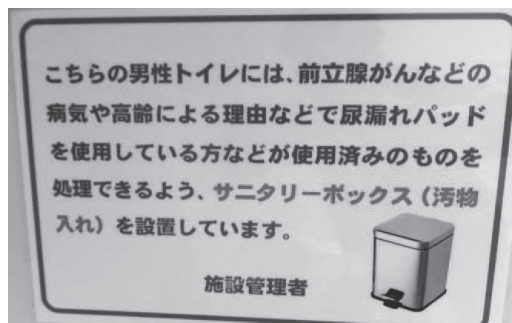
議員 「新庁舎になって男性トイレにサニタリーボックスが設置されたが、表示がないため分かりづらいのでは？」という質問に対して

執行部 「利用者のプライバシー保護や一般のごみを捨てないように、工夫を凝らした表示を検討していきたい」という答弁でした。

あれから1年



最近では高齢や病気などの影響で尿漏れパッドやおむつを使用する方が増えているため、使用済みのものを廃棄するための専用のゴミ箱（サニタリーボックス）を男子トイレに設置する公共施設が増えています。



現在の役場庁舎は、すべての男子トイレに
このような表示がされています。
利用者がより使いやすくなりました！

令和5年第3回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

7名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
ペットと共に親しめる環境整備を	P.15	飯村 剛 議員
観光誘客に効果的な通信環境の整備を		
全天候型の子育て支援施設の整備は	P.16	川井 正人 議員
英語圏への中学生の留学制度の新設について		
大子町防災士会の設立を	P.17	藤田 稔 議員
茨城DCに合わせた事業の連携周知は		
英語の子ども教室の実現の可能性は	P.18	福田 祥江 議員
新施設や新店舗を更に周知する方法は		
松沼橋の完成はいつになるか	P.19	菊池 富也 議員
清流高校とモンベルの連携を	P.20	大森 勝夫 議員
秋のだいで美の打上時刻の検討は		
国道118号頃藤、所谷間整備促進を	P.21	齋藤 忠一 議員
国道461号栃木県との連携は		
イベント広場へキッズスペースを		

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから

議会中継をクリック



スマートフォンから



問 ペットと共に親しめる環境整備を

答 ドッグランの整備を検討中



飯村 剛 議員

【飯村】 犬や猫の不妊去勢

手術費用の助成事業に取り
組んでいる自治体がある。
県内での市町村数は。そし
て、事例は。

【生活環境課長】 約3分の

1の市町村で取組んでいる。
飼い犬猫のみ、野良猫等を
対象とするなど自治体によ
って条件内容は様々、おお
よそ費用の1割から2割程
度の助成を行っている。

【飯村】 生命の尊重を理解

し人とペットが共生する地
域社会を目指す、その実現
に向けて当町でも犬や猫の
不妊去勢手術費用の助成事
業に取り組めないか。

【生活環境課長】 当町では、

飼い主の適正な飼育により、
みだりに繁殖が行われるよ
うな不適正な飼育状況には
ないと考えられる。助成に
ついては、茨城県地域猫活



ペット同伴の観光客が増えている

動推進事業での手術券交付
や茨城県獣医師会が実施し
ている助成制度等を案内し
ていく。

【飯村】 ペット・ツーリズ

ムの進展に伴い、観光レク
リエーション施設等に飼い
主とペットが親しめるドッ
グラン等や散歩コースなど
の整備を行い、観光誘客に
繋げてみてはいかがか。

【観光商工課長】 道の駅奥

久慈だいの北側未利用地

に「ドッグ
ラン」の整
備を検討し
ている。ま
た同様の施
設も調査し
ていく。

観光誘客に効果的な 通信環境の整備を

【飯村】 県では、観光客へ

のおもてなし向上及び地
域住民の利便性の観点か
ら、無料インターネット
「BARAKI FREE W.I.F.I」
の整備に努めている。当町
での普及状況は。

【まちづくり課長】 観光、

宿泊、公共施設など町関係
施設に21か所整備されてい
る。

【飯村】 通信環境の向上は、

観光や防災、教育分野にお
いて重要である。今後の推
進については。

【まちづくり課長】 建設を
予定している駅前交流拠点



通信が弱い場所では、携帯電話のGPS機能の活用を案内

や防災道の駅の施設への整
備。また、民間の店舗、飲
食店等への導入について周
知を図っていく。

【飯村】 町ではサイクリン

グやロングトレイル等アウ
トドアへの観光誘客を行っ
ている。まちなかを外れた
電波のつながらない場所
での環境整備、また安全性
を考慮した案内などの対策
については。

【まちづくり課長】 通信事

業者と情報の共有を図って
いきたい。安全対策ではG
PSを活用したアプリケー
ション等を利用するように
案内をしていく。

問 全天候型の子育て支援施設の整備は

答 規模や想定が予算に合致するか判断していく



川井正人 議員

て通行する。県が実施する

整備計画に加え旧役場跡地において、防災対応型観光交流施設や地中埋設型の貯水施設を整備し西側の現在砂利敷きはイベント広場の整備を計画している。進ちょく状況として旧役場庁舎の解体工事が間もなく始まる。

【川井】旧役場跡地には観光交流施設の建設計画をしているが、その施設内の概

要を伺う。

【観光商工課長】株式会社モンベルのテナント部分の整備、レストラン、FMだいのこの放送局、行政機能、足湯、案内所の設置、サイクルステーションの移設などを選択肢としている。

【川井】未就学児や低学年の子育て世代をターゲットにして、観光交流施設内に保育士がついた全天候型の子育て支援施設を整備してどうか。

【観光商工課長】子育て支援施設については、その規模や想定される利用者についてよく精査をして、予算に合致するか判断していく。

【川井】旧役場跡地に計画されているイベント広場のステージ規模や観客席の数を伺う。

【建設課長】おおよそ20



道の駅ふくしま隣接の「こどもの遊び場」

00人規模のもので計画を考えている。

【川井】現在開催されている、また今後開催されると予想される新規のイベントの観客やもみじ寺などの秋の観光シーズンに来町した観光客に対応する利用可能な駐車場は。

【観光商工課長】旧庁舎西側の砂利駐車場や湯の里公園への臨時駐車場の設置に加え、大子広域公園と常陸大子駅間でのシャトルバス運行により対応したい。非常に多くのお客様が想定されるという対応で、今回シャトルバスの運行を提案。

英語圏への中学生の留学制度の新設について

【川井】英語圏への中学生の留学制度の新設について町の考えを伺う。

【教育委員会事務局長】今定例会の補正予算で、海外留学地視察研修事業費の予算を計上。令和8年度から中学校第3学年の修学旅行について海外語学研修として実施したいと目標を掲げた。語学学習や異文化理解だけでなく、国際公衆道徳の習得や他国を通じて自国の文化や生活を見つめ直す好機ともなる。環境問題や平和問題などのグローバルな課題を肌で感じ取る貴重な機会としても注目。日本語が通じない環境に行くのは初めてという生徒もいると考え、生徒同士で助け合いながら英語を使って生活するということは貴重な経験になると考えている。

【川井】大子まちなかビジョンの中における旧役場跡地周辺、湯の里公園や西側砂利敷地を含む事業計画の概要と進ちょく状況を伺う。

【観光商工課長】広域的な災害救助活動の拠点となるべく広場の整備、防災倉庫、非常用発電機、マンホールトイレ、貯水槽、ヘリポートなどの整備を予定。また、防災道の駅敷地内には、押川の堤防に沿った形で片側1車線の道路を整備し国道461号の水没のおそれがある場合に、代替道路とし



旧役場跡地はどんな風景を見せてくれるのか

問 大子町防災士会の設立を

答 組織設置に向けて準備をしたい



藤田 稔 議員

準備が出来るようにしたい。防災士の組織化に注力して、その後検討をしたい。

【藤田】迅速な災害の把握、被害状況に応じた救助活動、捜索活動等に重要なドローン導入について考えを伺う。

【消防長】引き続き国や県の動向を注視していきたい。【町長】ドローンの運用に

関しては各課を超えて時間をかけて議論をしていきたいので、ご理解を頂きたい。

【藤田】大子町高齢者等住宅用火災警報器配置事業に

おいての設置数及び全世帯への設置推進について伺う。

【福祉課長】11年間で、116件となっている。非課税世帯対象という要綱部分の検討や避難行動要支援者への説明等、警報器設置への向上に努めたい。

【藤田】災害発生時の情報

伝達・収集に非常に有効な消防団無線が一部の地域で通信できない状況にある。整備についての考えを伺う。

【消防長】通信機器管理業者と広範囲な無線通信について確認し、消防団が安心して活動できるように研究を図っていきたい。

【藤田】東日本大震災発生時は、緊急車両等への給油が困難であった。停電時に

非常用発電機を設置している町内の給油所の把握はしているか伺う。

【総務課長】町内5か所の給油所を確認している。そのうち一か所が中核給油所に指定されている。その他

手動式のハンドルによる給油ポンプの所有も確認している。停電時でも対応できるものと考えている。

【藤田】新庁舎における断

水時の対応及び災害時用井戸水の取り組み状況を伺う。

【総務課長】敷地内に二槽式25立方メートルの貯水槽を整備している。非常用発電設備も整備して、72時間給水ポンプを稼働し給水可能となっている。大子町災害時協力井戸水の登録は20か所である。該当地区の自主防災会にのみ公表している。

【藤田】災害時用備蓄資機材等はまとめて保管する方が良いと思うが現状を伺う。

【総務課長】各地区の防災倉庫、大子町営研修センター

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って



秋のDCに合わせて実施する事業は早めの周知を！

1棟の一階の持ち出しやすい場所に置きたい。

茨城DCに合わせた事業の連携周知は

【藤田】大子来人について、色彩等についての協議はされたのか。また、照明の演出にかかる費用を伺う。

【観光商工課長】今年は茨城DCの年であるので、茨城県に色彩を認めて頂けるよう進めている。新たにプログラムを組むのには一本当たり10万円かかる。

【藤田】道の駅周辺イルミネーションや茨城DCに合わせた水郡線活性化事業と連携した季節ごとの光の演出のポスター等による周知の考えを伺う。

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って

【観光商工課長】観光商工課で事業を取りまとめて、ちらし、ポスターを作成したい。また、宿泊需要を喚起するナイトツーリズムに繋がるので観光客の増加、町民の満足度向上を図って

問 英語の子ども教室の実現の可能性は

答 そのような時期が来たら検討する



福田祥江 議員

【教育委員会事務局長】特

産品の販売流通ルート開拓や観光誘客を通して、相互交流が生まれてきた際には海外と姉妹都市を結ぶことが考えられるので、その段階では可能になると考える。

【福田】すでに大洗町や境

町では姉妹都市からのALT派遣、サマーキャンプ、オンライン英会話、留学を通じた交流に取組んでいる。昨年にも質問したが、当町でALTが増えた時には英語を使用する放課後子ども教室を考えられないかを再度伺う。

【教育委員会事務局長】そ

の様なようになった段階で、その時の雇用形態を見た中で判断していく。

【福田】冷暖房のない体育

館、浸水想定区域内の児童クラブもある。国から積極

的に学校施設を使用するように通達が出ていると聞いているが。

【福祉課長】放課後児童ク

ラブと放課後子ども教室の一体的運営、実施については安全性の面から学校施設の活用を促進、市町村で管理運営する事とされている。児童数の減少により、場所の変更が必要な時期になったら、一体的な実施についても検討していきたい。



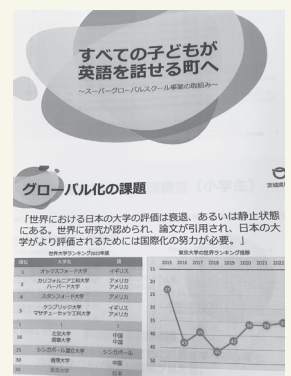
新施設や新店舗を更に周知する方法は

【福田】大子町では様々な媒体を通して情報発信をし

ているが、町民の中には、まだ情報が届きにくい方がいるのも事実である。移住してきた方、新施設、新店舗などを多くの町民に知ってもらい、町全体で盛り上げていく取組みができないかと考える。移住者交流会は現在、金曜日や土曜日に行われており、お店を営業している方は参加しにくいと思うが。

【まちづくり課長】現在は

参加した方のみからアンケート調査を実施しているが、参加していない方にもアン



英語教育、他の町でも始まっています

ケートを行う事を検討していく。

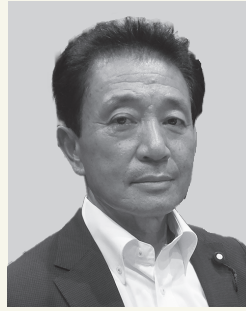
【福田】今年7月に議員視察研修で、平成3年から過疎化への対応や移住者支援に取組んできた徳島県神山町に行った。様々な取組みの中で、移住者を理解したり交流したりしてもらうために、高齢者に対して新規店舗を回るバスツアーを定期的に行っていた。大子町でこのような取組みができないかを伺う。

【まちづくり課長】高齢者

の中には、興味関心があっても店舗の詳しい場所や内容が分からず、訪れる機会が少ない状況も想定される。現在行っているAI乗合タクシーの乗り方教室の際に、実際にAI乗合タクシーに乗車をして、町内の新規店舗を回る買い物ツアーなどを実施できないか研究していきたい。

問 松沼橋の完成はいつになるか

答 令和8年度まで事業が延長された



菊池富也 議員

る。助成率は4分の3となつている。

【菊池】 1回の利用額が安価で、補助率も良いので利用しやすい。町は、両方を推進して行くというが、方向性はどうか考えるのか。

【町長】 町民の利便性が向上するようにしていきたい。

【菊池】 大子・那須塩原間の奥久慈おでかけ快速バスの利用状況は。

【観光商工課長】 昨年度の委託費は約455万円。利用者数は、321名で一人当たりの経費は約1万5000円。

【菊池】 1便に5人程度の乗客なら、中型バスでも対応できるのではないか。

【観光商工課長】 今後検討する。

【菊池】 水郡線の利用促進と高齢者講習の送迎の関連は。

【生活環境課長】 今年度より大子町役場から大宮自動車教習所まで、高齢者講習参加者を対象に送迎バスの運行を開始したが、利用者は6か月で16名程度である。

【菊池】 町から送迎バスを出すより水郡線の利用促進を図るなら、水郡線を活用したほうが良いのではないか。

【生活環境課長】 交通手段に不安を抱えている高齢者



いつできるのか松沼橋！

には、逆効果と考えているので、水郡線の利用促進事業とは切り離して考えている。

【町長】 実証実験を始めたばかりなので、統計を取りながら検討していく。

【菊池】 次に観光の町大子としての施策と景観の整備について伺う。

【観光商工課長】 道の駅だいがこのリニューアルや、観瀑トンネルの整備を実施。また、県北ロングトレイルコースやハイキングコースの整備を実施した。費用対効果を勘案したうえで、観光地の景観整備を検討する。

【建設課長】 道路の支障木の伐採は、順次進めている。それに伴い景観も良くなる側面もある。

【菊池】 新しい施設を作ることやリニューアルすることも重要だが、観光の町としては、美しい自然や景観を守ることが一番だと思っ

ている。次に、松沼橋の整備計画の日程は。

【建設課長】 事業延長に伴い、令和8年度に完成する

予定である。

【菊池】 令和9年3月までが工期ということは、あと3年は花火大会も開催されないということと理解する。

高齢者のパソコン、スマートフォン

の活用に対するサポート教室の実施状況は。

【まちづくり課長】 開催場所は、中央公民館、役場、コミセンなど12回開催し、97名が参加した。今後

も高齢者のデジタルデバイス(情報格差)の解消に取り組みたい。

【菊池】 昨々までの郵便局の見守り事業が3月で廃止されたが、その後の高齢者に対する見守りはどのような状況か伺う。

【福祉課長】 郵便局の見守りサービス事業については、本年3月31日現在で、該当者は122名いたが、本年度から町は費用負担を止めたので、現在は15名が加入している。町は、緊急通報

システムを取り入れ対応している。今後も様々なシステムを使いながら見守りサービスを続けて行く。

【建設課長】 事業延長に伴い、令和8年度に完成する

問 清流高校とモンベルの連携を

答 町として可能な支援努力をする



大森勝夫 議員

適した交通量の少ない道路があり、部員が日々活動するなかで、コースコンディションの管理ができる。また、モンベルが企画するアウトドア体験行事には部員がスタッフとして協力すれば、生徒はモンベルを通して社会体験ができ、就職先としての可能性も出てくる

と考える。大子清流高校とモンベルの連携を町が支援することはできないか。

【観光商工課長】大阪府の高校が今年2月にモンベルと連携してアウトドア活動の推進に取り組んでいる。大子清流高校は生徒数の減少から休部や廃部になる部活動があり、複数の部活動の顧問を一人の先生が兼任している状況である。まず、県立大子清流高校の意向によるところが非常に大きい

【教育委員会事務局長】大子清流高校の農林科学科は全国募集が可能である。各

と考える。もし創部の運びとなれば、町が結んだ包括連携協定をもとに支援をしていくことができると考える。

【大森】大子清流高校とモンベルの連携協力は、最終的には授業のカリキュラムにアウトドアを組み込んだコースを創設することが理想だと考える。全国から入学志願者を募るには、他には無い特色ある専門コースが必要であり、モンベルと連携した学科コースとなれば、知名度は高く志願者確保の可能性は高まる。高等教育は町の行政管轄ではないが、町内の高校存続支援として働きかけができないか。

【大森】大子清流高校とモンベルの連携を町が支援することはできないか。

学科とも2年次、3年次にコース選択制になっている。新たなコース開設は制度上あり得るが、県の教育委員会ではアウトドアコース設立の考えは現在のところ無いとの返答であった。大子清流高校も新たな系列やコース設置の検討はしていないが、高校として探究活動の充実を図っており、企業との連携によるアウトドア

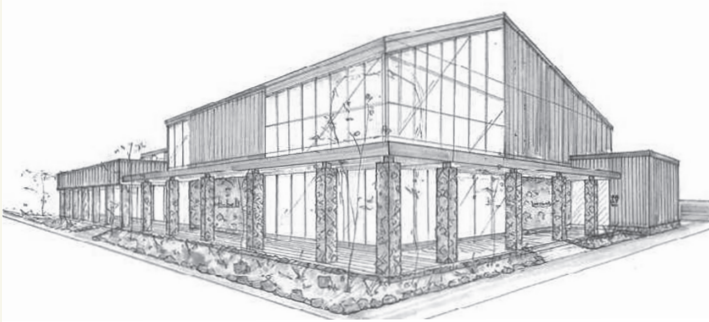
をテーマにした探究活動の実施は可能であるとの返答を得た。また、町で取り組んでいる中高連携事業で、公営塾の開設準備を進めている。そのなかの実践プログラムでアウトドア領域を企業と連携し、体験の創出ができないか考えている。

秋のだいご美の打上時刻の検討は

【大森】昨年から町内各地を巡回し好評を得たが、初回の場所では、花火の打上時刻が同じでも、時節的にまだ明るかったので残念に思えた。今年は配慮したのか。

【観光商工課長】今年はJRによる茨城デイスティネーションキャンペーンの時期でもあり、開催時刻を配慮して実施予定である。

大子町防災対応型観光交流施設イメージパース



モンベル出店で交流人口の増加が期待される

問 国道118号頃藤、所谷間整備促進を

答 引き続き要望する



齋藤忠一 議員

目指し急ピッチで工事を進めていると報告を受けている。

【齋藤】袋田バイパス着手当時、頃藤から所谷間をトンネルと橋梁によりつなげる、新しい道路の計画図が示されている。袋田バイパスの完成後、町が中心となり、町全体で要望活動をすべきではないか。

【町長】所谷地区からJR

【建設課長】国道118号袋田バイパスについては、事業主体である茨城県により、平成2年度から全体計画3560mの事業に着手している。昨年度、最北に位置する（仮称）北田気大橋が架かり、いよいよ前線開通が見込まれる状況である。現在、本年度、開通を



完成間近な国道118号袋田バイパス

鷲の巣トンネルと並行して真つすぐ頃藤地内に抜けていく路線であるが、引き続き要望している。これから町の発展に向けて、道路のインフラの向上にむけて努力していく。

国道461号 栃木県との連携は

状況である。【齋藤】国道461号は、今後、栃木県側との連携により、高速のインターや新幹線の駅まで30分構想が取りざたされているが、具体的にどのように進められているのか伺う。

【齋藤】国道461号の常陸大子駅付近から、近町大子橋間の整備が進められている。現在、駅前より400m区間で整備を進めている。その進捗よく状況を伺う。

【建設課長】茨城県が事業として計画し、令和元年度から事業に着手している。現在、設計が済んだ区間の用地交渉を順次進めている



整備が進められる国道461号大子町内

イベント広場へ キッズスペースを 【齋藤】防災道の駅周辺整備としてイベント広場の整備が進められている。その詳細を伺う。

【建設課長】現時点の詳細は、これまでのワークショップにおいて希望のあった天候に左右されない施設としてのイベント広場を整備して、管理室やトイレ、ちびっこ広場、スケボー広場など定められた広さの中で、要望と予算に配慮しながら進めていく。

【齋藤】現在、各地の道の駅や公園などには、子供達がゆったり遊べる、また、親が安心していられるキッズスペースが整備されている。そのような施設を整備してはいかがか。

【町長】あくまでもその予算の範囲の中で、できる限りの整備をしていきたいと思う。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



南中学校 3年
おおいしあみ
大石愛深さん

私は保育士になることが夢です。私が保育所の年中のときの担任の先生がとても優しく接してくれた事をよく覚えています。大きくなるにつれ先生への憧れは、私の夢へと変わりました。

保育士の仕事は、乳児から小学校入学前の保育を必要とする子どもを預かるとても大変な仕事だと思えます。中学2年生の職場体験で私は保育所

に行きました。2日間という短い期間でしたが、小さい子ども達との触れ合いはとても楽しく、私の保育士になるという夢を後押ししてくれました。保育士になるために学ばなければいけないことがたくさんあるので、しっかりと勉強し、先生みたいな優しい保育士になれるように頑張りたいと思います。

ダイゴライト 大子来人

袋田の滝のライトアップ企画、『大子来人（ダイゴライト）』に議員一同で行ってきました。すっかり大子町の風物詩となったこの企画は、10月1日から始まり来年1月31日まで毎日開催されます。今年は観瀑トンネルの改修工事も行なわれ、華やかさがパワーアップしたように感じました。トンネルを抜けるとその先には・・・。続きは現地をご覧ください！



F M放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



12月定例会開催予定

- ▽ 12月6日(水) 開会
- ▽ 7日(木) 〃
- ▽ 10日(日) 自宅審議
- ▽ 11日(月) 一般質問
- ▽ 12日(火) 一般質問
- ▽ 13日(水) 一般質問
- ▽ 14日(木) 逐条審議会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 福田祥江
- 副委員長 須藤明
- 委員 飯村剛
- 委員 川井正人
- 委員 菊池靖一
- 委員 齋藤忠一

あとがき

先日、地元小学校の運動会があり、久しぶりに出席しました。コロナの影響により4年ぶりです。来賓の数は以前と同じで変わりませんでした。少し変わったのは子供達の数が随分少なくなった様な気がしました。

令和7年度から中学校が統合され1校となります。地域にとっては大変残念な事ですが、現状を考えればいたしかたがないと思います。地域から学校が消える事は地域の衰退する要因にもなります。また、残された学校の跡地をどうするか、地域ぐるみでしっかり考えなければなりません。まずは中学校の統合により今までは違った環境に遭遇する生徒達が安心して通学できるよう願うばかりです。

(齋藤 忠一)